

東南村山 おいしい米づくり情報

第4号 田植え編

発行：令和6年5月10日
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL：023-621-8295)

**5月中旬も高温で経過する見込み！健苗育成に努め、適期に移植を行いましょう。
移植後は、こまめな水管理で初期生育を確保しましょう！**

移植のポイント

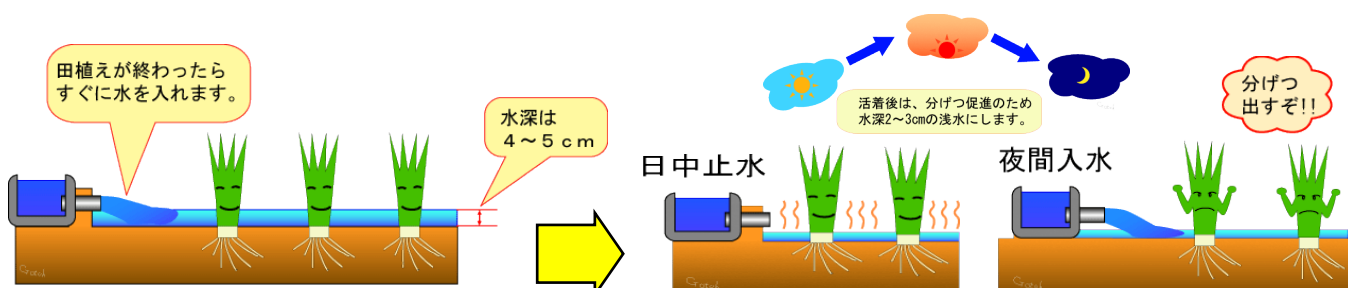
- ・移植適期は**5月15日～20日頃**です（**晩限は5月25日!!** ただし、「つや姫」は5月20日まで）。
- ・低温や強風下での移植は、植え傷みの原因となり、活着不良や初期生育の遅れに繋がります。
風が弱い温暖な日を選んで田植えを行いましょう。
- ・植込み本数は**m²当たり100本程度（70株/坪、株当たり4～5本）**を目安とします。
- ・過度な疎植や深植えは茎数不足につながるため、避けましょう。
- ・深植えは分けつの発生を抑制するため、**植付け深度は3cm程度**にしましょう。
- ・取置苗はいもち病の伝染源となります。補植は移植日に行い、**取置苗はすぐに処分しましょう!**
補植をする場合は、除草剤の散布前に行いましょう。

注意!

今年は育苗期間中、高温で経過したため、苗の生育は早まっています。
苗の状況を確認し、適期内で早めに移植を行いましょう!
<適正な苗姿> 苗丈 12cm 程度、葉齢 2.3 葉頃(稚苗)

移植後の水管理

- ・移植後は、**水深 4～5cm 程度に湛水**し、活着を促進させましょう。
- ・活着後は、**水深 2～3cm の浅水管理**とし、**日中止水・夜間かんがい**で水温にメリハリをつけて分けつの発生を促しましょう。
- ・強風や低温が続く場合は、やや深めの水深（4～5cm程度）とし、稲体の保護に努めましょう。



除草剤の適正使用

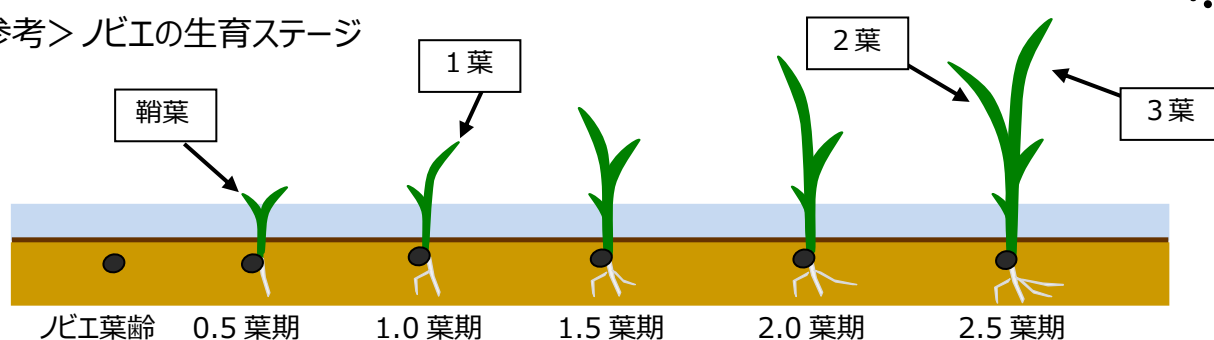
近年、代かき後の気温が高温で経過し、
雑草の葉齢展開が早いため**要注意!**

- ・雑草の生育は**代かき直後から**始まります。雑草の葉齢が進むと除草剤が効きにくくなるため、使用時期の範囲内でも**早めの散布**を意識しましょう。
- ・**箱施用剤と除草剤(1キロ剤)の取違いに注意!** 散布前によく確認しましょう。

<効果を高める水管理>

- ・除草剤散布では、**水深 3~5cm**(ジャンボ剤、豆つぶ剤は水深 **5~6cm**)を確保します。田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣るため注意しましょう。
- ・**散布後は 7日間止水**し、田面の露出を防ぎましょう。

<参考> 雑草の生育ステージ



多くの初中期一発剤は雑草 2.5~3 葉期が処理晩限!
除草剤の使用時期をよく確認し、遅れないように散布!

土壌の異常還元(ワキ)対策

- ・高温が続くと、土壌が還元して根の生育を妨げるガスが発生します(ワキ)。
- ・晴天・高温が続く場合は、**2~3 日おきに水交換**を行い、ワキや表層剥離を抑制しましょう。
- ・ワキの兆候がみられたら、**速やかに水交換や夜間落水、田干し等**を行きましょう。

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡を生じ、においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡を生じ、においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	夜間灌水、 田干し（曇天日 2~3 日）

~春季農作業事故防止啓発運動 展開中~

4月10日~6月10日

焦らず、きもめず、STOP 農作業事故!!

管内の稲作情報を
LINEに掲載しています!

QRコードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。

